

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		総合計画策定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	澤田 勝矢
	施策	25	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	牧野 淳一
	基本事業	84	計画的な施策・事業の推進			所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11038	法令根拠	合志市自治基本条例第15条	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
								成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	②

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市の将来像、基本理念を示す基本構想、中期的な視野に立った基本計画で構成する「合志市総合計画」を策定する事業であり、平成20年度に策定した合志市総合計画(計画期間:H20~H27)の期間終了に伴い、次期計画を策定する。策定については、行政評価システムと連動した計画策定とする。(自治基本条例第23条)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①将来像、基本方針(政策)、施策の組み立て、基本計画に示す施策の策定。②施策の成果を行政評価で測るための市民意識調査の実施・成果指標の設定。③庁内各階層ごとの会議による討議、検討。④合志市総合政策審議会への諮問(→答申)。⑤パブリックコメントの実施。⑥基本構想→議会議決。⑦計画の決定。
【主な予算費目】	市民意識調査: 1,309,000円 時間外勤務手当: 647,000円 合計1,956,000円
【意見や要望】	議会と総合政策審議会からは、行政評価システムによる総合計画の進行管理を行っており、事業成果への期待が寄せられている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	総合計画策定に伴う課内検討を行った。また、課長級の行政経営推進部会を6回及び部長級以上の政策推進本部会議に1回諮り検討を行った。また、市民に対して総合計画の考え方及び政策体系を説明、意見を求めるため市民説明会を2回行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総合計画の策定に向け、内容の最終検討とパブリックコメント、総合政策審議会への諮問と議会議の上程を予定している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 庁内内部会議開催数 イ: 審議会への諮問回数	予算の主な増減の理由 総合計画策定に伴う市民アンケート用経費の減及び啓発用看板等経費の増による予算の増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 総合計画(基本構想、基本計画、実施計画)	(単位) 件 ア: 計画数 イ: 計画数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画的に実施されている	(単位) 件 ア: 計画における施策数 イ: 計画における施策数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~27年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア	回		0	30	15	15				
	イ	回		0	1	0	1				
② 対象指標	ア	件		0	1	1	1				
	イ	件									
③ 成果指標	ア	件		0	45	29	45				
	イ	件									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円			1,577	1,555	4,617			
		(A) 事業費計	千円		0	1,577	1,555	4,617			
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0			
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人		1	0	14	0			
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間		120	0	1,976	0				
	(B) 人件費計	千円		478	0	7,872	0				
トータルコスト(A)+(B)		千円		478	1,577	9,427	4,617				

事務事業名	総合計画策定事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 検討会議の目標値は達成していないが、スケジュール通りの内容の検討は図られたため、おおむね達成できた。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 来年度中には総合計画の策定が必要であるため、達成しなければならない。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 より良い総合計画にするため、更なる検討を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総合計画の策定であるため、統廃合、連携の余地はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 総合計画の冊子作成について、入札を行い削減を図る。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の職員での対応としており、人員の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 総合計画策定であるため、訂正化の余地はない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の総合計画策定であるため、適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

総合計画の策定に向けて、スケジュール通りの検討ができた。次年度中のより良い総合計画の策定に向けて取り組んでいく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						